

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野スポーツ振興事業団						
事業	指標名	スポーツ教室参加率			目標値	96.0%	実績値	96.9%
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	100.1%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: %)	96	98	95				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①参加者の増加を図るため、市報・情報誌への掲載、ホームページによる告知、チラシの配布等、情報の提供を積極的に行った。 ②小・中学生目向けの教室は、チラシを作成し市立学校を通して児童、生徒に配布し、参加者の増加を図った。 ③大人向けの教室は、終了後アンケート調査を実施し、その結果を事業運営に生かすことで市民満足の向上をはかり、参加者増につなげる努力をした。 ※スポーツ教室参加率=実施した教室の定員数/参加者数						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 スポーツ教室は、これまで実績のある事業は安定した参加者数を確保し、新規事業も広報活動を積極的に行った。アンケートによる市民の意見や民間施設等の情報を参考に実施種目やレベルなどを選定し、またキャンセルに対する繰上げの実施などを行っての点は評価できる。ニーズに基づく教室の実施はもとより、公共的団体の責務として人気などは別の視点で例えば日本古来の伝統的なスポーツ振興などもあわせて実施し、適切なバランスをとりつつ今後もスポーツ教室の参加率向上に努めること。						
	二次評価	目標は達成しているが、平成18年度の実績及び平成19年度目標値（いずれも98%）を下回っている。しかし、参加者アンケートによるニーズ調査や小中学生向け事業の積極的なPR、キャンセルに対する繰上げの実施などを行っている点は評価できる。ニーズに基づく教室の実施はもとより、公共的団体の責務として人気などは別の視点で例えば日本古来の伝統的なスポーツ振興などもあわせて実施し、適切なバランスをとりつつ今後もスポーツ教室の参加率向上に努めること。						
	指標名	ワンデーレッスン参加者数			目標値	35,000人	実績値	33,629人
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	96.08%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 人)	34,834	36,271	34,056				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①スポーツ振興の視点から、幅広く市民が参加できる種目や人気のある種目、時流に沿った種目を実施し、市民ニーズに対応した。 ②情報提供、PR等に努め、参加者の増加を図った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 全体数は目標値には達しなかったものの、1教室あたりの平均参加人数は昨年度を若干上まわっている（19年度45.05人、20年度45.14人）。今後も市民ニーズに対応した種目の実施を心がけるとともに、情報の提供・PRに努め、参加者の増加を図りたい。							
二次評価	目標未達成で、かつ前年度実績も下回っている。需要をリサーチして参加率が望める事業を行い、参加率の低い事業は見直すなど、参加者数を増やすため一層の努力が求められる。							
財務	指標名	自主事業収入			目標値	36,000千円	実績値	36,903千円
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	102.5%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	36,114	38,264	37,085				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①参加者の増加を図るため、市報・情報誌への掲載、ホームページによる告知、チラシの配布等、情報の提供を積極的に行った。 ②小・中学生目向けの教室は、チラシを作成し市立学校を通して児童、生徒に配布し、参加者の増加を図った。 ③大人向けの教室は、終了後アンケート調査を実施し、その結果を事業運営に生かすことで市民満足の向上をはかり、参加者増につなげる努力をした。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 スポーツ教室、野外活動事業ともに、応募者が多い教室などについては定員を超えても受け入れるように調整し、参加率の低い教室も広報活動を積極的に行い、参加料収入の目標が達成できた。事業実施前に未入金者に連絡をとるなど、キャンセルによる参加者数の減少をなるべく少なくした。参加率の低い教室については、さらに実施の必要性や時間等の設定を再検討するとともに、今後も情報の提供・PR等に努め、参加者の増加を図りたい。						
	二次評価	目標は達成しているが、実績を見ると平成18年度から逡減している。参加率の低い教室は、広報による周知も必要だが、事業に対するニーズの把握に努め、ニーズの低いものはあり方の検討を行うこと。						

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野スポーツ振興事業団						
③ 人 事 組 織	指 標 名	給与制度の見直し			目 標 値		実 績 値	能力給与制度の調査
	過 去 の 実 績 (単位:)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達 成 率		達 成 状 況	未実施・未達成・達成
	取 組 内 容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 東京都の制度導入について検討した						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 東京都及び武蔵野市の動向を注視しつつ、制度の調査・研究を進めたい。						
二 次 評 価	武蔵野プレイス指定管理受託に備え、経費抑制の一環として人件費の抑制は必須である。併せて「サービスの質の向上」「専門的な知識の活用」も同時に求められており、経営者の視点に立って、成果主義的給与制度の導入も含めて、早急に人事・給与制度の構築を行うこと。							